

ハンガリーの保育園の〈教材うた〉

加勢 るり子

一貫した音楽教育は、ハンガリーでは保育園からはじまります。すべての音楽の基礎づけは、幼時期にこそ、適切な方法で与えられなければならない、として、子どもにもっともかなった、伝承的なわらべうたを動作（あそび）とともにうたうことから音楽活動に入っていくのです。

わらべうたは、どこの国のものにも、だいたい2/4拍子で二小節のモチーフ構成があり、ことばや遊びの型にメロディーがかなり自由に従っているという、共通のパターンがみられます。そして、モチーフのくり返しや、類似のモチーフの集まりでできていたり、また、二小節がその基本的単位になっていたりと、種々の似たような要素がみられます。

このような、一般的世界的な子どもの歌のもっている基

本的な性格を

生かした現代

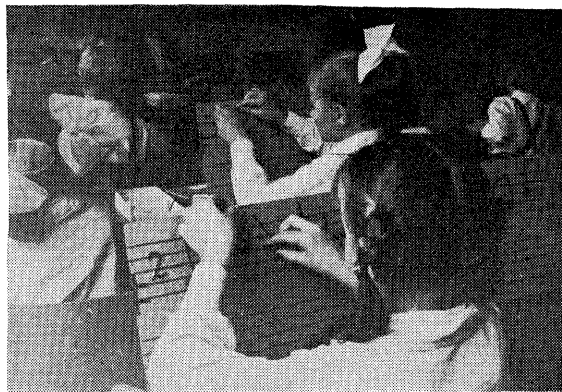
の〈子ども

うた〉もま

た、ハンガリ

アの保育園で

の大切な教材うたです。この種のAうたVの代表的なものにコダーイが八十歳のときに作曲したへ小さい人たちの歌Vがあり、これは五十曲から成っています。この本の最初では、コダーイはわずか二音しか使いません。つぎに三音、四音、そして最後が五音となります。音の長さについては、わずかに一拍、半拍、二拍のみを使用しています。このような素材の範囲内で、コダーイは魅力ある多様な効



ブタベスト第6音楽保育園にて



果をあげた歌の宝庫を作っています。これらはすべて無伴奏でうたうことになっており、歌詞の自然なアクセントにつれて音楽の強弱がこれに従うたてまえになっています。半音音程は、子どもたちが清潔な音程で、支柱になる五音（自国の音楽語源であるもの）をしっかりとうたえるようになってから入れる方が安定しやすい、というコダーイの考えにより、この本では使用されていません。

歌詞は、児童語によらず、本当に子どものごとくで語ることを知っている優れた詩人のものによっています。わらべうたや子どものうたが、いずれにせよ、つぎのようなコダーイの理想への共鳴をもった先生たちにより、ハンガリーの保育園の中で、子どもたちとともにうたわれていることにまちはありません。

それは、音楽活動の中でも特に、みんながいっしょにうたうことの中に、人間の理解と同情への一つの秘密が存するのだということとを、子どもが子どもなりにわかるようにしたい、というものです。

（写真一九六五年
コダーイと筆者）

コダーイ：あそびと教材うた
 <幼児音楽教育>の講演と実技

と き……………7月27日、28日（月・火）A.M.8.30

と ころ……………お茶の水女子大学 講堂
 （国電大塚駅下車）

プログラム

★ こどもとうた	前 東 大 脳 研 究 所 長 京 都 大 学 教 授 青 山 学 院 大 学 教 授 愛 育 研 究 所 部 長	時 実 利 彦
★ 幼児の才能開発	お茶の水女子大学助教授	牛 島 義 友
★ 幼児の発達にもとづいた教育	お茶の水女子大学講師	津 守 真
★ コダーイ・システムとその生かしかた	コダーイ・システム研究会長	加 勢 るり子
★ 実 技		

主 催……………コダーイ・システム研究会
 渋谷区本町6-2-4 TEL377-0740

後 援……………お茶の水女子大学児童研究会
 テキスト……………「小さい人たちのうた」「世界の子供のうた」「ピアノの学校」

会 費……………1人、1,000円（当日受付にて）